

報道関係者各位
(参考資料)

2012年10月5日
株式会社インターネットイニシアティブ

**「松江データセンターパーク」が
「グリーン・グリッド データセンター・アワード2012」で「特別賞」を受賞**

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、データセンターの効率化を推進する国際的な業界団体であるグリーン・グリッド(The Green Grid、本部:米国オレゴン州)が2012年10月5日に発表した「グリーン・グリッド データセンター・アワード 2012」において、IIJのコンテナ型データセンター「松江データセンターパーク」が「特別賞」を受賞したことをお知らせいたします。

松江データセンターパークは、商用としては国内で初めて外気冷却コンテナユニットを採用したデータセンターです。自社のクラウドサービス「IIJ GIO サービス」のファシリティとして、2011年4月に島根県松江市に開設されました。IIJが独自に企画、開発したコンテナユニット「IZmo(イズモ)」(特許番号:第5064538号)に、工場で機器を搭載した後、サーバを搭載したまま運搬、設置することで、構築期間を大幅に短縮しています。また、外気冷却コンテナユニットを採用することで、全体の消費電力を従来型のデータセンターより約40%削減しています。

「グリーン・グリッド データセンター・アワード」は、データセンターのエネルギー効率の計測と改善を推進することを目的に2010年に創設され、今回で3回目の実施となります。今回の受賞では、日本初の商用コンテナ型データセンターを稼働させるにあたり、ASHRAE2008 基準による冷気温度の高温設定に基づく外気冷却という、先進的な手法を利用しデータセンターの低消費電力化を実現した点を評価いただきました。また、コンテナ単位、ラック単位、サーバ単位での使用電力の監視に加え、建物と連携したデータセンターパーク全体での電力監視を行うなど、最新のデータセンターでも、詳細をモニターしながら、さらに、継続的な改善に取り組んでいる点も評価ポイントとなりました。

IIJはこれからも省エネを推進する新技術やサービスの開発に、積極的に取り組んでまいります。

■松江データセンターパーク(写真)



データセンターパーク外観



コンテナデータセンターモジュール「IZmo」

■グリーン・グリッドについて

2007年に設立されたグリーン・グリッドは、世界各地の会員企業によって構成される業界団体として、データセンターおよびビジネス・コンピューティングにおけるエネルギーの効率化を推進しています。2012年、エネルギー・エコシステムでのこれまでの活動成果を基に、グリーン・グリッドはクライメート・セイバーズ コンピューティング・イニシアチブ (CSCI) を一体化しました。CSCIは、電子機器のエネルギー効率化と消費電力管理の改善を通じて、情報通信技術 (ICT) の電力消費、コスト、二酸化炭素排出量の低減に取り組んでいます。グリーン・グリッドは、CSCIとの一体化により、データセンターから個人向けコンピューターまで、コンピューティングおよびコミュニケーションの全域へとエコシステムの範囲を拡張し、世界のIT産業に対して、エネルギー効率の改善に必要な指標、ツール、ベストプラクティス、指標を提供していきます。グリーン・グリッドは、特定企業の製品あるいはソリューションを推奨するのではなく、データセンターにおけるエネルギー効率の改善に必要なベストプラクティス、指標および技術を業界全体の視点から提供することを目指しています。グリーン・グリッドに関する詳細については、www.thegreengrid.jp をご覧ください。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 小河、村松

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@iij.ad.jp URL: <http://www.iij.ad.jp/>